

ビッグデータを活用した地域包括ケア推進のための研究プロジェクトを開始！

「地域包括ケア実現のためのヘルスサービスリサーチ：

二次データ活用システム構築による多角的エビデンス創出拠点」が、

厚生労働省戦略研究「健康医療分野における大規模データの分析及び基盤整備に関する研究」プロジェクトに採択される

筑波大学医学医療系の田宮菜奈子教授を代表、福島県立医科大学高橋秀人教授および早稲田大学野口晴子教授を副代表とする研究グループは、東京大学、岡山大学、横浜市立大学、福岡大学、東京都長寿医療センター研究所、社会保障人口問題研究所、産業技術総合研究所、保健医療科学院等と共同で、新たな研究プロジェクト「地域包括ケア実現のためのヘルスサービスリサーチ—二次データ活用システム構築による多角的エビデンス創出拠点—」を開始します。本研究プロジェクトは、厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）戦略研究に採択されたもので、本年度より2年間にわたって、医療・介護における地域包括ケアのための効果的サービス提供のあり方を探るとともに、地域や国の政策立案に貢献する研究拠点を確立し、明日の日本を築く礎となることを目指すものです。

背景と経緯

ヘルスサービスリサーチは、医療サービスの質を、構造（ストラクチャー：人員体制、設備など）、過程（プロセス：アクセス、サービス提供の流れ、使いやすさなど）、結果（アウトカム：これらのサービスにより、どのような変化が生じたか）の視点から包括的・科学的に評価・分析し、学際的視点から考察する、生活に密着した研究分野です。欧米では、医療の質の向上や政策に学問的裏付けを示し貢献する研究分野として確立していますが、日本ではまだ緒についたばかりで、独立した研究室を有する大学は本学だけです。

本研究プロジェクトの代表である田宮教授は、ヘルスサービスリサーチにおける国内の第一人者として、医療のみならず、介護・福祉等これまで実証研究の対象となくかった分野にも光をあて、『生活と調和した医療の実現』をめざし、包括的に研究を進め、2011年には、Lancet 誌に我が国初の全国レベルの介護保険評価分析を発表しました（本プロジェクト副代表野口氏と共同主著）。本プロジェクトでは、これらの実績をもとに筑波大学内の、医学医療系（臨床医学および保健医療学域）、システム情報系、体育系、人文社会系および障害系の連携のもと、学外の医学、看護、社会保障、経済、統計、情報、工学、福祉などの分野を含む研究機関からなる学際的な研究組織を設立し、わが国の厚生労働政策における国民的課題を解決するための大規模研究に取り組みます。

プロジェクトの概要

近年、超高齢化社会に向けた社会保障の充実など、これまでの医学研究では扱いきれなかった内容に対してビッグデータの活用が期待されています。これまでの医療データを用いた研究は、特定研究者による特定地域の限局的な研究が主体となっていました。本研究プロジェクトは、2年の研究期間において、地域包括ケアのための効果的サービス提供のあり方を明らかにするため、全国データをはじめとする種々のビッグデータを活用した介護保険サービス利用の実態把握とサービスの質の評価、地域でケアを必要とする者とその家族のニーズの実体と各種サービ

ス利用の関連の分析、医療と介護のより効果的な連携やバランスの検討等、総合的な解析を行います。これにより、全国レベルで地域差を含めた実証研究が可能になります。全国と相対化した地域の位置づけを把握することは、今後各市村が独自の地域包括ケアを推進するうえでのエビデンスを提供することとなり、エビデンスに基づいた政策展開に重要な役割を果たします。本研究プロジェクトでは、全国データとして全国介護レセプトデータ、国民生活基礎調査、中高年縦断調査、介護事業者情報等を、統計法に基づく申請のうえ入手し、独立したデータベース室を設けて適切に管理・利用します。また、個々に各地域と契約を結んだデータ(医療保険及び各市町村介護保険のレセプトデータ等)は、各モデル地域拠点で契約に基づく管理をします。さらに、データ研究支援センターおよびモデル地域への実装拠点を整備し、質の高い地域包括ケアに向けた政策決定に資する各都道府県および市町村への還元資料算出システムを構築します。さらに、構築したデータベースに基づく分析結果や地域別の還元資料をモデル市町村に還元し、地域のPDCA(Plan-Do-Check-Act)サイクル実施を支援するとともに具体的に政策決定に活用するまで伴走し、根拠に基づく政策策定に関する担当者の教育も実施する計画です。

厚生労働省による「戦略研究」は、国民の健康を守る政策に関連するエビデンスを生み出すために実施される大型の臨床研究であり、創設当初は介入研究を原則としていましたが、今年度からは、質の高い観察研究も取り扱う方針となりました。全国公募で32件の応募のうち、4件が採択されましたが、介護も含めた包括的な医療・福祉政策を扱うのは本プロジェクトのみであり、わが国の医療・介護政策関連政策への貢献が期待されます。

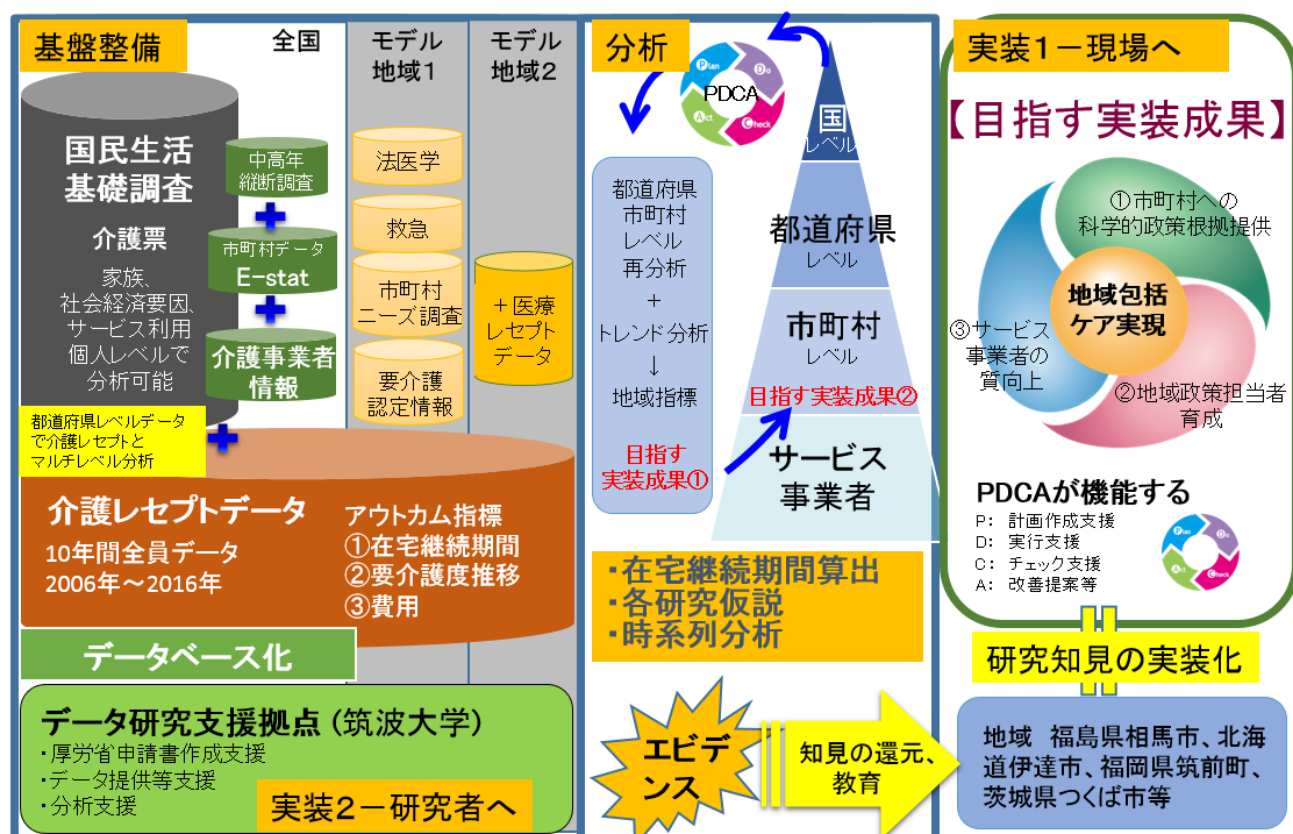


図 プロジェクト概要

問合わせ先

田宮 菜奈子(たみや ななこ)
筑波大学 医学医療系 教授